

## 令和7年度あきる野市スポーツ推進審議会（第3回）議事要旨

開催日時 令和8年3月19日（木）午後7時～8時40分

開催場所 あきる野市役所 5階 503会議室

出席者 江川委員、吉田委員、金網委員、菱田委員、高岸委員、田中委員、森本(久)委員、寺内委員

事務局 遠藤生涯学習担当部長、一瀬スポーツ推進課長、戸田スポーツ推進係長  
スポーツ推進係 寺島

1 開 会 一瀬スポーツ推進課長

2 挨拶 江川会長、遠藤生涯学習担当部長

### 3 議 題

(1) スポーツ推進計画に基づく取組状況検証シートについて

(会長) スポーツ推進計画に基づく取組状況検証シートについて、説明をお願いします。

(事務局) 「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証ヒアリングシートの概要を説明。

(委員) 病院の待合室には健康に関するようなものが掲示してあるので、ウォーキングのチラシ等を掲示してもらえると、興味持ってもらえるのではないかと思います。

(事務局) 以前はスーパーや病院にも掲示をお願いしたことがありますが、個別にお願いをすることになるので、どこまでできるかというところもあります。

(委員) 大会やイベントについて、施設にポスターを掲示していただければ、1～2か月後の試合やイベントを周知できて、行ってみようと思う人もいると思います。

(事務局) 情報発信については、あきる野市、青梅市を拠点として、東京初のBCリーグ加盟を目指しているプロ野球独立リーグ新球団の東京レジデンシャルのチーフ・コミュニケーション・オフィサー（COO）に就任した榎原氏が、周知PRとしてYouTubeやFM放送等を通して情報発信していくこととなります。市の宣伝やスポーツをする機会にも繋がると思います。

(事務局) あきる野市の公式LINEも始まりましたので、SNSを使って情報発信していくこともできると思います。

(委員) 市内の小・中学校施設を平日夜間及び土曜日、日曜日に使用した人数が、196,089人とありますが例年このくらいですか。

(事務局) コロナ禍で一時期減少しましたが、今はコロナ禍前に戻りつつある状況です。全体的には、解散等により団体やチームの数は、徐々に減りつつあります。市内のみだと人が集まらないので、段々エリアが拡大してきている傾向はあると思います。

(委員) 成人のスポーツ活動の推進として取り組んでいる、秋川体育館及び五日市ファインプラザの託児教室の利用者数が非常に少ないと感じました。アスポルトでも、未就園児（1～3歳児）向けのプログラムを実施していて、当初は非常に多くの利用がありましたが、年々減っていました。保育園に入れる家庭が増えたこと、幼稚園も少子化で、早めにお子さんたちを受け入れる対策をとって、3歳になる前から入園できるようになっています。親としては早めに入

れたほうが、幼稚園の申込みを優先的に受けられるという社会変化も起きていることで、参加を希望する人自体が減少し、コロナ禍を基にアスポルトとしては閉鎖しました。こういったことから、この世代のニーズは明らかに減っているなと思います。これらのことから民間での実施は難しく、行政でないといけない気がします。

(事務局) 託児つきの事業、教室は昨年度9月から再開しましたが、残念ながら参加はありませんでした誰でもスポーツに参加できる環境づくりのため、現在も、秋川体育館、横川観光ファインプラザで、曜日を限定し、事前申込み制で実施しています。今年度は、横川観光ファインプラザで延べ9人の利用がありますが、秋川体育館での利用はありませんでした。市からの要請により指定管理者の自主事業として実施していますが、民間ベースで考えると、雇用や準備等を考えると厳しい状況だと思います。今年度、来年度については、継続する事業ですので、状況を注視していきたいと思います。

(委員) 障がい者スポーツ教室の実施の部分ですが、今年度は、秋川体育館に加えて、新たに横川観光ファインプラザも会場として開催しました。

(委員) この資料は、令和6年度の実績で、令和7年度については、次年度に整理されると思いますが、こういったことに使用されているのでしょうか。

(事務局) 令和5年度に作成した、スポーツ推進計画という冊子の基本目標の1から5までである内容に沿って、各事業の状況を確認していただきます。ここで審議いただいたもの整理して市ホームページで公表します。これらを基にして今後、次期計画を考えていくこととなります。

(委員) この内容が一昨年の結果となっているので、直近のものを反映できた方が良いと感じました。

(事務局) 項目が多いので、報告をどのようにまとめるかが課題となっています。

(委員) 3月の時点では、令和7年度の内容は確定していると思いますので、内容が掲載されているとより良いと感じました。

(事務局) スポーツ推進課の内容だけではなく、他課の内容も含まれているので難しいところがありますが、そこは課題としたいと思います。

(会長) スポーツ推進課の単独事業と他課が単独でやってる事業と、複数の課で共同で実施している事業があると思いますが、この資料は全部の内容が反映されているので、一目で全部が分かるというメリットがあります。一方で反映時期が一昨年のものであるという点もあります。スポーツ推進課の内容は理解しやすいと思いますが、共催や複数の課で実施している事業、対象者が違う事業などについては把握できないので、このような資料を作成していると思います。この審議会ではスポーツ推進計画の成人の週1回以上のスポーツ実施率70%にどのぐらい、貢献するのかという視点で考えると、この資料が分かりやすいと思います。

## (2) その他について

(事務局) 令和8年度スポーツ推進課事業計画案について説明。

(委員) 体操ニュースポーツ事業29人のうち、大人の参加者は何名いましたか。

(委員) 参加状況については、高齢者が中心でしたが、小学生が3人いました。

(委員) 成人の週1回以上のスポーツ実施率70%を目指す上で、小学生が3人参加されていることはすごく良い傾向だと思います。

(委員) 体操ニュースポーツ事業は、高齢者向けの椅子に座っての軽い筋トレ、ストレッチ、健康体操のようなものが中心になっているので、高齢者の参加が多く、子供の参加を促してはいないです。ニュースポーツは、スポーツ輪投げ、室内ペタンクを実施しましたので、この種目は子供たちも楽しめるものだと思

います。時間の都合上、体験できる種目も少ないので、スポーツ推進委員としても考えながら取り組んでいきたいと思います。

(事務局) 全国健康福祉祭ねりんピック東京大会の開催が正式に東京都から発表されました。来年は埼玉県で実施される予定で、東京都では令和10年度に初めて実施されます。内容としては、60歳以上の国民スポーツ大会で、約10種目実施されます。あきる野市は、ソフトボール競技を八王子市と一緒に実施する予定となっています。全国と都道府県、政令市のあわせて約60地区を対象に、競技を実施します。

また、ルートインBCリーグについては、あきる野市と青梅市を中心に、東京初の独立リーグのチームが発足する予定です。それに伴って、球場の整備も行いますが、今後、選手のトライアウト、野球教室などの周知PRを行いながら、見るスポーツとスポーツに親しむ人が増えるようにしていければと思います。開幕は令和9年4月、開幕戦はあきる野市民球場で実施したいと伺っています。

(会長) 令和8年度の計画で、対象者未定となっているBCリーグもそれを支える人たちも対象にできると思います。ねりんピックは、対象年齢が決まっているので、現在50代、60代、現時点でシニアで、もうやめようかなという人があと1年継続するという思惑が重なれば、市の事業にも役立つと思います。令和8年度は、通常の事業に加えて、大きな事業もあります。大きな事業のときに上手くPRして、スポーツをする人が増えるといいなと思いました。部活動地域展開で活動している子どもたちをトライアウトまでに育成しても良いと思いました。対象者を絞って、情報発信ができたらいいなと感じました。

(委員) 子どもすもう大会、ドッジボール大会等は毎年盛り上がります。今年度はボッチャあきる野大会に、あきる野学園から2チーム参加がありました。今まで参加していなかったチームの参加があったことは素晴らしいことだと思います。来年度も参加を呼びかけて、障がいのある人も参加してもらえるといいなと思いました。

(委員) 市内の小中学校の特別支援学級に通ってる子たちは、すもう大会、駅伝大会にも参加しています。

(委員) すもう大会、駅伝大会、ドッジボール大会への、学校の参加については、学校ごとに差があるようです。働き方改革の影響等で、指導や応援にあたる教職員の負担や体制に違いが出ています。市がこれら3つの大会を、推進していることは理解している一方で、現場の状況を踏まえると、支援策や調整を検討する余地があるという印象です。

(会長) 指導者も入部時点では障がいの有無に分からず、家庭でも気づいていない場合もあると思います。通っているうちに、実は障がいがあったという場合も多く、そういった人がどれくらいいるかという数字はどこにも存在していません。指導されている人たちの方が、分かっているという現状があります。そういった手助けが必要な子供がスポーツをするときには、必ず大人の力が必要だと思います。そういう子供が1人いると、成人が何らかの形で関わることになるので、それは成人のスポーツ人口に繋がると思います。自分自身は運動をしなくても、そういう子供を支えることでスポーツに関わっていると考えたと、応援することも間接的にスポーツに関わることになると思います。子供を取り巻く大人が支えるスポーツに関わることになって、このあきる野市スポーツ推進計画にも繋がると思います。小学生の保護者は大体何歳で、この人たちがどういう行動をすると、スポーツ人口になるのか、幼児や障がい者の子供がいる家庭ではどうなるのかという視点で、子供を支える人の関わり方を考えることは良いことだと思います。

(事務局) ドッジボール大会は秋川体育館で、あれだけの歓声があって、小学校 10 校の 2 年生が午前中、3 年生午後で実施しています。それぞれの学校が横断幕を持っています。それを会場に設置して応援してますから、毎年熱気のある大会だと思います。

(委員) すもう大会やドッジボール大会の話がありました。部活動の話の地域展開について、昨年 3 月にスポーツ協会で東京都と市町村を含めた研修会で、あきる野市の地域展開の事例を発表しました。関心をいただきまして、去年の夏頃、一部市町村があきる野市に視察に来ました。今年も幹部研修会があり、市町村と東京都で、再度、部活の話が話題になりました。今回発表した自治体では、中学校 12～13 校ですが来年度からようやく部活動に関する予算がついたと話していました。あきる野市では、もう 3 年前から実施しているので、何人かからあきる野市の状況を教えてほしいと問合せありました。そういう意味ではあきる野市は地域展開が進んでいると思います。地域展開がまだまだ進んでいなくて、部活動を辞めている市町村もある中で、あきる野市の中学生は部活動をこれまで通り実施できています。現場ではまだまだ微々たるものではありますが、流れとしては非常に皆さん喜んでくれているように感じます。

(委員) スポーツの日のスポーツフェスティバルでスタンプラリーを実施したと思いますが、どれぐらいの成果があったのでしょうか。

(事務局) 昨年のこの会議のときに、スタンプラリーを実施してはどうかというお話をいただいて、今年度初めて取り入れました。昨年の体験プログラム参加者が 384 人だったのに対して、今年度は 526 人の参加があり、一定の成果があったと思います。

(委員) ありがとうございます。

(委員) 介護予防教室の参加者が 20 人とありますが、5 回で 20 人ということですか。

(事務局) いきいきセンターでやっている自主事業で、今年度は実参加者が 21 人で延べ 80 人です。

(委員) この事業は誰が指導されていますか。

(事務局) スポーツ指導されてる 2 人の方をお願いしています。

(委員) 昨年の冬に、知的障害者のカテゴリーのフットサルの世界大会日本代表で、うちの選手が出場して、表敬訪問を勧めたのですが、本人の意思でお断りしました。せっかく市内にそういう選手がいるので、市として、そういうことをピックアップするようなシステムがあるともっと盛り上がっていくのかなと思います。

(事務局) 紹介頂ければ、市長への表敬訪問は日程次第ではありますが、全国大会以上であれば設定できます。その様子は市のホームページでも周知しています。

今日この後報告しようと思っておりましたが、ミラノコルティナパラリンピックに森井大輝選手が 6 度目のパラリンピックに出場しました。市でも、出発前に激励会を行いました。

(会長) トップの一部の層だけじゃなくても、スポットライトを当てるような仕組みはあってもいいと思います。またその仕組みを考えて行く必要があると思います。

#### 4 その他

#### 5 閉会 吉田副会長